

第2回はたらく部会会議録

日 時	2013年6月18日(火) 10:00~12:00
場 所	地域連携交流施設 2階 会議室
主 席 者	都倉弘明、岡田純代、加藤和子、村田啓子、細田知秀、越田典子、濱口直哉、藤本良隆、福田宜克、前田忠男、政本和子、吉水富美
テ - マ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本日参加メンバー自己紹介</li> <li>2. 報告</li> <li>3. その他</li> <li>4. 次回開催日について</li> </ol>
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新しい参加メンバー <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回より、細田氏が参加</li> </ul> </li> <li>2. 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>「はたらく人の声を聞く」について・・・はたらくしている当事者の意見交換の場を提供する</li> <li>・昨年度は、2回の「はたらく人の声を聞く」を開催したが、今年度も実施の方向で協議したい</li> <li>・「はたらく人の声を聞く」の参加募集チラシと、質問項目について事務局より提案</li> <li>・「はたらく続ける」事ができるために、しんどさを話せる等の場を持つことではたらく事を支える会が必要ではないか</li> <li>・今年は、集う場を定着させる事が目標となるのではないか</li> <li>・本人部会がまだないので、今後つなげていければいいのではないか</li> <li>・場所：地域連携交流施設</li> <li>・参加対象者：播磨町に在住している方、支援学校を卒業した播磨町の方(4~5人)、支援学校在籍で高校2・3年生の方</li> <li>・日時：8月4日(日)に開催する</li> <li>・年齢により話が合わない場合もある。ゆうあい園のような通所事業所でも年齢による過ごし方の違いが見受けられる</li> <li>・グループを年齢によってくくることは、協議会でしない方が良いのではないか</li> <li>・プログラムをみて、参加者が決めることではないか</li> <li>・話を聞くコーディネーターが、年齢に合わせた質問等を行うことが出来れば、あえて参加者を分けなくても良いのではないか</li> <li>・コーディネーターとしては、次につながる話(どんなことで困っているのか、どういう集いをしたいのか等)を引き出せればいいのではないか</li> <li>・広報先は、学校・ゆうあい園・育成会に向けて募集チラシを配布する</li> <li>・町内在住者が、通所している就労継続B型事業所等に役場から、チラシを送付し、町内の利用者に配布していただく。</li> <li>・加古川公共職業安定所では、企業就労や就労支援A型事業所に、就職した人にお知らせすることは可能なので、配布依頼文を添えて募集案内を送る</li> <li>・事前申し込みは、事務作業のためにもしてもらおう</li> <li>・町内在住の支援学校卒業生に、郵送での案内が出来るかどうかを支援学校に確認後、郵送するが、不可能な場合は同窓会やふれあいフェスタで手渡す</li> <li>・案内チラシを7月14日の「播磨町ふれあいフェスタ」で配布する</li> </ul> </li> </ol>

- ・コーディネーターは、参加人数により2グループに分けることも考えておく
- ・その場合、コーディネーターを増やす事も考慮する
- ・募集案内には、コーディネーターの濱口氏の名前を入れた方が良いのではないかと
- ・内容を強調する案内文に、修正する
- ・申込みの締め切りは、7月21日(日)とする

「特別支援学校高等部卒業生等に係る就労継続B型の利用取り扱い」について

- ・播磨町としては、支援学校からの情報や各事業所のアセスメントを基にして、障害認定審査会の承認を得る形を考えている
- ・姫路市自立支援協議会では、就労継続B型に通う療育手帳Bの方については、1年くらいの余裕を持ってその方に合う事業所への移行を審査するという話を聞いた  
姫路市の方向はわからないが、播磨町では、就労支援部会やアセスメントの基準もない状態なので、協議会で審査することは難しいと思う
- ・新卒生に係る就労継続B型事業所利用についての情報は、特別支援学校にも届いていない

### 3. その他

平成25年度の協議会 紹介チラシについて(参照)

そだつ部会 「かけはし書き方教室」平成25年6月19日(水)10:00~11:30  
地域連携交流施設

- ・近隣の加古川市、高砂市では「サポートブック」を全戸配布なのか  
自立支援協議会「こども部会」でサポートブックを作り、全戸配布して普及に取り組んでいる「書き方教室」はまだないが、今後検討する予定である  
加古川市は、教育委員会主体で行っている  
数年前には、書き方教室の案内が広報に出ていたが、現在は行われているか不明  
全戸配布はしていない

全体研修会 「計画相談の手順」

～新たな障がい者(児)の計画相談が始まりました～

平成25年7月5日(金)10:30~12:00

播磨町役場3階BC会議室

東はりま特別支援学校では、「はたらくマップ」をファイルし表紙には生徒が書いた絵を貼り、貸し出し管理している(越田氏より紹介)

### 4. 次回開催日について

H25年7月23日(火)10:00~ 地域連携交流施設

- ・「はたらく人の声を聞く」参加者人数報告